

## 目次

経営理念	1
ごあいさつ	2
<b>環境マネジメント</b>	
● 環境基本理念	3
● 住江織物グループ環境対策宣言	3
● 行動指針	4
● 環境推進体制	4
● 環境マネジメントシステムの導入状況	4
● 環境との関わり	5
● 第2次中期行動目標	5
● 2008年度の実績	6
<b>環境負荷の低減</b>	
● 省エネルギー(地球温暖化抑制)	7
● 省資源	8
● 産業廃棄物の発生抑制とリサイクル	8
● 環境汚染の防止	9
● 生産事業所の環境保全活動	10
<b>環境会計</b>	13
<b>環境保全活動の歩み</b>	14
<b>環境に配慮した技術</b>	
● 技術開発への取り組み	15
● LCAによる製品の環境配慮度の評価	16
● スミグリーンSG-400・300のLCA評価	16
● スミグリーンSG-400・300のリサイクル工程	17
● 生産段階	18
● 使用段階	19
● 廃棄段階	22
<b>環境に配慮した商品</b>	
● インテリア分野	23
● 産業資材分野	25
● 機能資材分野	27
<b>外部コミュニケーション</b>	29
<b>会社概要</b>	30

当環境レポートは、住江織物グループのお客様をはじめとする多くの利害関係者の皆様に、弊社の環境保全活動の内容を理解していただくことを目的として毎年発行し、今年で第10刊目となります。

### 対象範囲および対象期間

対象範囲：本社および主要生産拠点  
(奈良、大阪、滋賀各事業所)  
対象期間：主要データの集計期間は  
2008年6月～2009年5月とし、  
他の掲載内容は過年度分を含んでいます。

## 経営理念

### 会社の目的

よい製品を生産し、販売し、  
社業の隆盛をはかり社会の向上に貢献する。

### 社訓

業界の先駆者としての誇りをもち、  
和協、誠実、不屈の精神をつらぬく。

当社がこの経営理念を着実に実践し、インテリア業界におけるリーディング・カンパニーとしての存在価値を永続的に高めるには、その事業活動すべてにおいて、高い倫理観をもって行動することが重要です。

ここに会社及び役員、従業員が遵守すべき規範を企業行動規範として定め、コンプライアンス経営を推進します。

### 行動規範

- 1 法令その他の社会的規範を遵守し、公正で健全な企業活動を行います。
- 2 よい製品を生産し、販売し、社会の向上に貢献します。
- 3 従業員の人格と健康・安全に配慮し、従業員を公正に処遇します。
- 4 ステークホルダー(利害関係人)との関係を尊重します。
- 5 良き「企業市民」として積極的に地域社会に貢献します。
- 6 地球環境への影響を重視し、環境保全に取り組みます。

## ごあいさつ

地球温暖化による異常気象が多発し、大きな被害が発生するなか、その主な対策であるCO<sub>2</sub>削減への取り組みが、世界中で急速に広がりを見せています。2009年9月に開催された国連気候変動首脳級会合では、日本政府も2020年までに温室効果ガスの25%削減の目標を掲げ、自国の低炭素革命の達成と、発展途上国に対する環境技術や省エネ技術の協力を表明致しました。

民間レベルでも、大量生産・大量廃棄のビジネスモデルから脱却し、省資源や省エネルギー、リサイクルを前提とした事業を行う企業が増えております。この背景として、持続可能な循環型社会への変革のなかで、その責任と貢献を強く認識する考え方が企業の根底にあります。

当社は1998年にインテリア業界にさきがけて「スミノエ環境対策宣言」を発表し、環境保護を基本方針としてリサイクル性に優れた商品や、室内環境の改善を目的とした新しい技術を積極的に開発してまいりました。

環境問題における企業の社会的責任への関心が高まるなか、この度「スミノエ環境対策宣言」改め、住江織物グループが一丸となって「住江織物グループ環境対策宣言」を発表致しました。リサイクル材の積極的な採用や、LCA(ライフ サイクル アセスメント)手法にもとづく「ローカーボン製品」の開発、製品の長寿命化や、廃棄処理の最適化を見据えたライフサイクルにおける「エコデザイン思想」の活用など、環境対策に対する方針をより明確に表明致しました。

旧宣言から受け継がれた「KKR+A 健康・環境・リサイクル+アメニティ(快適)」の基本理念のもと、住江織物グループは、当社製品による室内環境の改善と、企業活動を通じた地球環境の保護に積極的に取り組み、「環境と共生する企業」を目指してまいります。

この一年間の取り組みとしましては、カーペットの廃材を粉砕し再資源化する取り組みや、当社が創業以来培ってきた織物に関する「匠」の技術と、信州大学のナノテクノロジーとの融合による、次世代技術や革新的な商品の開発を目指した共同研究などが挙げられます。また、当社の環境対策商品や、環境に対する基本理念をより理解していただくため、取引先を対象とした「環境セミナー」の開催や、環境に関する各種展示会への参加も積極的に行いました。

今後もグループ一丸となって環境保全活動の充実を図ってまいりますので、皆さまにご高覧いただき、忌憚なきご意見、ご指導をたまわれば幸いに存じます。

2010年1月

住江織物株式会社  
代表取締役社長

吉川一三

